



上：建築の模型も展示。家具のほか、マジストレッティは建築でもその手腕を発揮した。右上：美しくスタッキングできるセレーネ。右下：セレーネのスケッチ。脚に工夫を重ねている。



## マジストレッティの仕事場で、創作の秘密に触れる。

カッシーナやアルテミデ、デパドバなど、有数の家具メーカーからデザインを発表してきたヴィコ・マジストレッティ。彼のデザインは、機能的でモダンなだけではなく、どこかチャーミングな表情をもち、世界中の人々に愛されてきた。名作として美術館に収蔵されたデザインも少なくない。

2006年に惜しまれつつ亡くなったマジストレッティが実際に使っていた仕事場を、マジストレッティ財団がミュージアムとして今春から公開。オープニングの展示では、当時一世を風靡した、一体成型のプラスチック製椅子「セレーネ」にまつわるスケッチやプロトタイプが披露され、多くの見学者の興味をかきたてた。

今後も、アーカイブからさまざまな貴重な資料を公開していくという。巨匠の仕事場で、名デザインの秘密に触れてみたい。



マジストレッティは1920年生まれ。晩年も精力的に活動した。

### Fondazione Vico Magistretti

- Via dei Conseruatorio 20 ☎02-76002964
- M SAN BABILA
- 開14時～18時(火～金)
- 休土～月 無料
- [www.vicomagistretti.it](http://www.vicomagistretti.it)
- ※グループでの見学は要予約(午前も可)

